

各地の自然災害で被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。神様の慰めと助けがありますよう、お祈りしております。

露の臺 ほろにがく 春の自然の味がする



イースターは、イエス・キリストが死から復活されたことを記念する日です。キリストは、全人類の罪を取り除くために十字架にかかって死なれ、墓に葬られましたが、三日目に墓の中からよみがえられました。

キリストが十字架で息を引き取られたのは金曜日の午後3時ごろ。ユダヤの一日は日没から始まりましたから、すぐ安息日である土曜日に入りました。それが二日目。そして日曜日、三日目の朝にキリストは復活されました。

今年のイースターは4月21日。イースターが年によって異なるのは、A.D.325年のニカイア公会議で、春分の日次にめぐってくる満月の後の日曜日をイースターにする決められたからです。

キリストの復活は、信じる者に、死の恐れからの解放と、永遠の御国(みくに)への希望を与えるものです。

イースター礼拝

4/21(日) 10:30~
聖歌隊の賛美があります。



スプリング・イースター・コンサート

4/28(日) 15:00~ 入場無料

教会ではこの時期、復活されたイエス・キリストを宣べ伝えます。



演奏：藤丸 麗さん(ピアノ)

【プロフィール】

1997年、相愛大学音楽学部ピアノ科首席卒業。東京読売新人演奏会、関西新人演奏会出演。2000年、ポーランド・ワルシャワ・ショパンアカデミー研究科最優秀卒業。在学中より国内外でコンサート活動、オーケストラとの競演、国際コンクール優勝、入賞、多数。ポーランド・プシェミシル・アルトゥール・マラフスキー音楽院の教諭を務める。



2019

4月号 140

宝塚栄光教会

INFORMATION

第3回バザー 5月26日(日) 13:00~15:00

今年はフェアトレード商品を用意しました。日本は世界屈指の輸入大国。その生産国、特に途上国では、労働者に正当な賃金が支払われていなかったり、生産性を上げるために労働者の健康が犠牲になっていたりする現実があります。公平・公正な取引引きによって、途上国の労働者を支援しようという取り組み、それがフェアトレードです。街中のお店より少々高い値段に感じるかもしれませんが、ぜひこの機会に、支援の輪を広げる気持ちで買っていただければと思います。

お食事・喫茶を
お楽しみください

ちらし寿司・山菜ご飯
豚汁・お菓子

手作り小物やお花の
販売もあります

日用品・衣料品・
雑貨 etc.

アニメ上映会
お子様と一緒にどうぞ!



お気軽にお立ち寄りください。

フェアトレード商品
チョコレート
コーヒー・紅茶
ストール・ポーチ
etc.

パンコーナー
障がい者就労支援作業所
ワークセンター
「わっそ」より

新約聖書の無料配布
Gloryのポストカード&しおり販売
キリスト教関連書籍のライブラリー
(貸し出しもOK)

集会のご案内

主日礼拝 日曜日 午前10:30~11:45

子どもチャペル 日曜日 午後1:00~2:00
※幼児から中高生対象

ゴスペル教室 月1回 月曜日 午後7:00~9:00

オカリナ教室 月1回 第1木曜日 午後6:00~8:00
※各教室は見学もできます。詳細はお問合せください。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

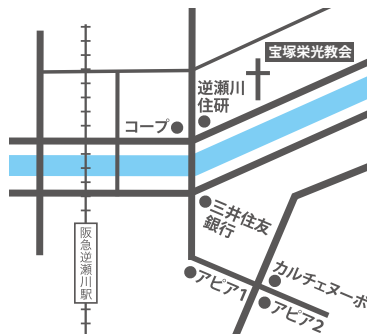
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル
毎週更新。24時間つながります。
0797-77-3746

ポッドキャスト
でも配信中!
ホームページから
利用できます。

礼拝 毎週日曜日
10:30~11:40



見ないで信じる幸い

イースターおめでとうございます。私たちの救い主イエス・キリストのご復活を心からお祝いいたします。

ある人がこう言いました。「キリスト教で受け入れられないものの一つが、キリストの復活だ」と。確かに、死人が復活するなど、人間の理性では受け入れられないことです。けれども、イエス様は私たちと同じ人間としてこの世にいらっしゃいましたが、神のひとり子でした。そのお方が、死んでそのままおしまいになったと考えることこそ、不合理ではありませんか。

イエス様が復活されたとき、やはり「信じられない」と言い張った弟子がいました。トマスです。イエス様が十字架で死なれ、三日目によみがえられた朝、弟子たちはみな、失望と恐怖と不安に囲まれて、震えながら家に閉じこもっていました。すると、よみがえられたイエス様が彼らの中に立たれました。驚く彼らに、イエス様が手と脇の傷を見せながら、ご自分がイエスであることを示されました。弟子たちが大きな喜びに包まれたことは言うまでもありません。

ところがそこに、トマスは居合わせませんでした。彼が帰ってくると、ほかの弟子たちが

みな、「復活されたイエス様にお会いした」と言いながら喜んでいました。彼は、「そんなこと信じられるか。私はその手の釘跡に指を差し入れ、脇の傷に手を差し入れるまでは、決して信じない」と主張したのです。

数日後に、イエス様が再び家に来られました。イエス様はトマスに、指を釘跡に、手を脇の傷跡に差し入れてみるよう言われました。トマスはその場にひれ伏して、自分の不信仰を悔い改め、イエス様が復活されたことを信じました。そのとき、イエス様は静かにこう言われました。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。」ヨハネの福音書20章29節の言葉です。

見て信じるのは信仰ではありません。見ずに信じるのが信仰です。イエス様は、私たちの罪のために十字架で死なれ、三日目に墓の中から復活されました。このイエス様の十字架と復活を信じる者には、罪の赦しと永遠のいのちが与えられます。そして、罪と死とサタンに勝ちつつ進んでいく者になります。見ないで信じる者に与えられる幸いです。あなたもぜひ、この幸いをいただけてください。

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



「オランダフウロ」

春の朝 次の田植えの備えのため “田起こし”を終えた
田んぼの傍らを 歩く
のどかな風景が 続いている
遠い山々の頂は 白い雪を残すも
山の中腹には 帯状の雲が 流れていた
カラスが一羽 隣の田んぼのふちを 歩いている
朝の日射しに 足取りも軽く 田んぼの土の香りを 楽しんだ

この時 足元に咲く 小さな花に 気づく
あまりに小さい花で かがみ込み 顔を近づけて 見た
この小さな花は 背丈2cm程しかなく
首を延ばして 精一杯咲いているように見えた
葉っぱは 土に貼りつくように 広がっている

ここは 畦道 この花は 踏まれ 踏まれていったに違いない
それは 強じんな顔つきに見えた
これが オランダフウロ
ヨーロッパや 西アジア原産の 帰化植物である

春 小さな雑草は 美しい花色で着飾って
やがて 実をつけ その実がはじけて 増えていく

しかし 言うておく
栄華を極めた ソロモンでさえ
この花の一つほどにも 着飾ってはいなかった
マタイ6章(聖書)